

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	コミュニティ事務管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	02	01	15	01	04
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	コミュニティ課				
施策	2-6		市民の主体的連帯活動に支えられたコミュニティの推進	主管課長	樋口 洋徳				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	コミュニティ課職員	意図	事務管理の効率化を図る。
事業内容	各種コミュニティ運営に関する事務に必要な経費を管理する。			
事業開始から現在までの状況変化	各種事業が効率よく実施できるよう毎年検討している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	事務改善件数	1	1	1	
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

コミュニティ課全般の事務管理を行うことにより、効率的に業務を行うことができる。

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

課内で管理する紙媒体資料のデータ化を進め、平成30年度は特に自治会区域図についてGISを活用したことにより、市民や事業者からの問い合わせに対し速やかに対応できるようになった。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	4,943,031	5,373,669	5,875,757
事業費(b)(円)	4,084,081	2,307,409	2,838,297
うち一般財源	4,084,081	2,307,409	2,838,297
職員給与費(c)(円)	858,950	3,066,260	3,037,460
人役・職員(人)	0.05	0.38	0.38
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	0.30	0.30	0.30
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	自治会区域図をGISを活用し、データ化することにより、問合せへの対応を速やかに行えるようにする。	③取組における課題(Check)	データでの区域図の活用により、対応は速やかに行えるようになったが、紙媒体のメリットもある。
②H30に実施した取組(Do)	GISに自治会区域図を反映させた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	データと併せ、紙媒体も引き続き更新し、状況によって最適な対応がとれる環境を整える。